

ミラル (2010)

MIRAL

メディア 映画

ジャンル ドラマ 伝記

製作国 フランス／イスラエル／イタリア／インド

色彩 Color

時間 112分

初公開日 2011/08/06

公開情報 ユーロスペース

映倫 PG12

【キャッチコピー】

未来へ受け継ぐもの
――それは希望

【解説】

「夜になるまえに」「潜水服は蝶の夢を見る」のジュリアン・シュナーベル監督が、イタリアで活躍するイスラエル出身の女性ジャーナリスト、ルーラ・ジブリールの自伝的小説を映画化したヒューマン・ドラマ。イスラエル占領下のパレスチナを舞台に、私財を投じて孤児たちのための学校を創設し生涯を教育に捧げた一人の女性の信念と、そこで学んだ少女の数奇な運命を中心に、イスラエルに生きる4人のアラブ人女性の過酷な人生とかすかな希望を力強いタッチで描き出す。主演は「シリアの花嫁」のヒアム・アッバスと「スラムドッグ\$ミリオネア」のフリーダ・ピント、共演にウィレム・デフォー、ヴァネッサ・レッドグレイヴ。

1948年、イスラエル建国宣言1ヵ月前のエルサレム。ユダヤ民兵組織に親を殺された孤児たち55人を保護したヒンドゥ・フセイニは、彼らのための学校“ダール・エッティフル（子供の家）”の創設に尽力する。継父の虐待に耐えかね、家を飛び出したナディア。ある日、些細な喧嘩からユダヤ人女性を殴ってしまい、懲役6ヵ月の判決で収監される。刑務所では同房のファティマと心を通わすが、かつて優秀な看護師だった彼女は、今ではテロ未遂の罪で無期懲役の身となっていた。ファティマは心身ともに衰弱しているナディアを心配し、出所後の彼女の世話を兄ジャマールに託す。やがて2人は結婚し、女の子ミラルを授かるが、心の傷が癒えきらないナディアは、ついに自ら海へとその身を投げ出すのだった。1978年、ジャマールは7歳となった最愛のミラルをヒンドゥに託し、ダール・エッティフルへと送り出す。やがて17歳に成長したミラルは、難民キャンプで見たイスラエル軍の暴挙に衝撃を受け、恩師ヒンドゥの制止もむなしく、強硬な反イスラエルの思想に染まっていく。

【クレジット】

監督	ジュリアン・シュナーベル	Julian Schnabel	
製作	ジョン・キリク	Jon Kilik	
製作総指揮	フランソワ＝ザヴィエ・デクレヌ	François-Xavier Decraene	
原作	ルーラ・ジブリール	Rula Jebreal	
脚本	ルーラ・ジブリール	Rula Jebreal	
撮影	エリック・ゴートイエ	Eric Gautier	
プロダクションデザイン	ヨエル・ヘルツバーグ	Yoel Herzberg	
編集	ジュリエット・ウェルフラン	Juliette Welfling	
出演	ヒアム・アッバス	Hiam Abbass	ヒンドゥ・フセイニ
	フリーダ・ピント	Freida Pinto	ミラル

アレクサンダー・シディグ	Alexander Siddig	ジャマール
オマー・メトワリー	Omar Metwally	ハーニ
ヤスミン・アル・マスリー	Yasmine Al Massri	ナディア
ルバ・ブラル	Ruba Blal	ファーティマ
ウィレム・デフォー	Willem Dafoe	エディ
ヴァネッサ・レッドグレイヴ	Vanessa Redgrave	ベルタ